

# 研究実施のお知らせ

2025 年 12 月 16 日 ver.1.1

## 研究課題名

急性期病院における FIM 効率の関連要因の解明による診療支援モデル構築のための包括的研究

## 研究の対象となる方

2016 年 4 月から 2025 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院で入院リハビリテーションを受けられた方

## 研究の目的・意義

近年、急性期病院におけるリハビリテーションは、単に寝たきりを防ぐだけでなく、早期の回復や退院支援、再入院の予防までを含む重要な役割を担っています。その効果を客観的に示す指標として「FIM（機能的自立度評価）」が広く使われており、入院期間あたりの回復量を示す「FIM 効率」は、リハビリの成果を評価するうえで信頼性の高い指標とされています。これまでの研究では、年齢や疾患、入院時の状態などが FIM 効率に影響することが知られていますが、多くは回復期の患者を対象としたものであり、急性期の患者を包括的に分析した報告は多くありません。

本研究では、当院の急性期病院でリハビリを受けた多様な疾患の患者データを用いて、FIM 効率に関連する要因を多角的に検討します。特に、リハビリを始める時期や提供量といった「変えられる要因（可変因子）」に注目し、回復との関係を詳細に解析します。得られた結果は、より効果的なリハビリの提供方法や、スタッフ配置・診療体制の改善に役立てられると期待されます。

## 研究の方法

研究はカルテなどの情報から収集します。情報は、年齢、性別、障害原因病名、診療報酬算定区分、症例タイプ、転帰、入院日、退院日、入院日数、介入日数、リハビリテーション依頼日、リハビリテーション初診日、リハビリテーション開始日、リハビリテーション依頼曜日、リハビリテーション開始曜日、入院からリハビリテーション依頼までの日数、入院からリハビリテーション開始までの日数、リハビリテーション依頼からリハビリテーション初診までの日数、リハビリテーション初診からリハビリテーション開始までの日数、リハビリテーション依頼からリハビリテーション開始までの日数、FIM 開始時、FIM 退院（終了）時、改善点数、年度ごとの療法士数、Relative Functional gain、介入単位数を使用します。名前など個人情報が特定可能なものは削

除し取り扱います。

### 研究の期間

2026年2月2日～2029年3月

### 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

### 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 石田修平

### 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年8月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：石田修平

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 石田修平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457